

2026年1月19日 共同記者説明会



# 製薬協とAMEDのCo-creationが切り拓く 創薬工コシステムの未来

Co-creation

日本製薬工業協会 会長  
宮柱 明日香

# 製薬協が取り組む、価値のCo-creation（共創）



創薬エコシステムの強化、その先に未来の「医療のあるべき姿」を創り出すために、  
産業内外との連携を行い価値を共創していきます



## 対話

医療・医薬品をとりまく現状の理解

## 相互理解

各ステークホルダーの  
「できること」を共有

## 共通課題の解決

課題解決に向けた  
ステークホルダー横断でのアクションの推進

## ステークホルダーとの対話を通じた役割の明確化を行い、価値共創に向けた取組を推進

Co-creation (共創)	製薬協の取組	実現したいこと
創薬	製薬業界からアカデミア・AMEDへのノウハウの提供	日本特有の創薬エコシステムの強化
生産	バイオ医薬品、新規モダリティの生産体制整備の検討	主にバイオ医薬品を対象とした生産機能誘致
制度	製薬内外ステークホルダーとの財源に関する共通課題解決	予見性改善と医薬品の価値に応じた薬価制度
医療DX	国際的知財保護・知財施策の推進	グローバルの規制調和
	主幹組織立上げとステークホルダー横断の議論の実施	新しい財源再配分モデルの導入方針の策定
	官民対話を通じた投資・シーズ誘致の着実な実行	
	生産におけるバイオ人材の育成	
	薬価に反映すべき革新的新薬の価値の議論開始	
	審査報告書の充実 ASEAN諸国とのリライアンスパス	
	医療DXの全体構想・実行計画の策定	



## アカデミアとの連携

- ・産学連携事業、コンソーシアムへの参画
- ・各社による共同研究
- ・オープンイノベーション・インキュベーション・プログラムの提供



## AMED・各府省庁との連携

- ・アドバイザー派遣
- ・課題評価委員派遣
- ・事業への参画・利活用



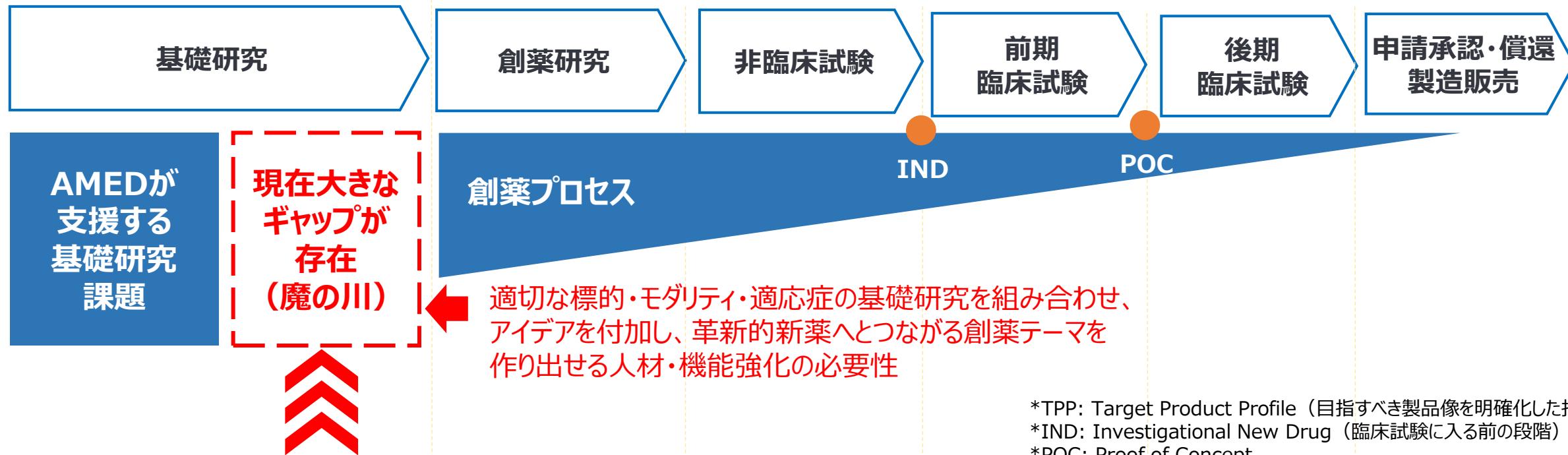
## インキュベーション、実用化へ向けた取組

- ・合弁や各社CVCによるインキュベーション
- ・カーブアウト、スピナウト企業等の輩出



## 創薬環境・基盤強化

- ・オープンイノベーション・インキュベーション施設の開設
- ・人材育成（研究講座の設置、講義等の教育プログラムへの協力）



製薬企業が“研究・開発～上市”の一連の活動から蓄積してきた経験・ナレッジとAMEDの連携で魔の川を越え、革新的新薬を生み出す

### 製薬企業の創薬研究

基礎研究を組み合わせ  
創薬研究へと仕立てる

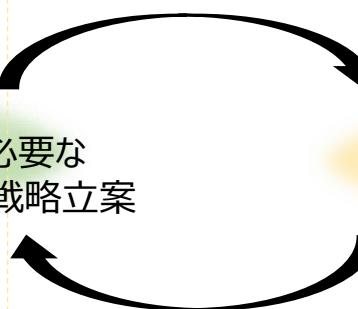
TPPを策定し、その目標達成に向け、必要な  
データ取得の研究計画、ならびに知財戦略立案

アンメット・メディカル・ニーズに基づいた研究・開発を  
進めるケイパビリティ

### 臨床開発、薬事申請、販売活動による知見の獲得

橋渡し研究、臨床開発の知見  
事業採算性の評価

グローバル市場のトレンド



# 創薬経験豊富な専門人材がAMEDへ出向： 創薬の原石を見極め、実用化・事業化に向けた戦略的な方向性を示す



## 豊富な経験を持つ企業研究者が出向

- ✓ 製薬企業における創薬プロジェクトの立案・採択経験
- ✓ 創薬プロジェクトのリード経験
- ✓ 高度な創薬知識

両者の対応チームが、定期的に進捗を確認し方針を協議する体制を構築



革新的新薬創製に  
特化した出向

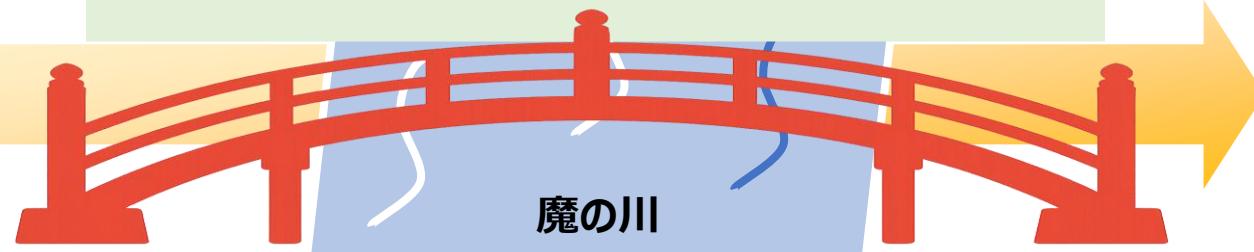


## AND-E (AMED IND ENGINE)

- 事業化・社会実装の観点で創薬可能性評価
- TPPを意識した仮想研究シナリオ設計
- IND到達を見据えた開発ロードマップ作成

産業的視点をもった創薬研究が  
定常的にAMEDで行われる状態と  
なることを期待

AMED支援課題  
(基礎・萌芽的研究)



## 創薬展開

- スタートアップ設立
- 製薬企業への導出
- 共同研究への展開

## 日本発の革新的新薬創製につながる 創薬科学研究の開始



産業界のノウハウ活用の場の創出・  
エコシステム全体での人材交流促進